

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 青少年健全育成の推進  
 基本事業 青少年健全育成活動の充実

事業名 **青少年文化賞顕彰事業**

[0468]

部名	教育部	事業開始年度	昭和62年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>小学生以上24歳以下の市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>芸術、文化に対する意識を高め、創造性豊かな江別市青少年を育成したい。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>教育機関、文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴、コンクールの内容等を精査し教育委員会、庁議において審議の上、表彰者を決定する。表彰式は青少年スポーツ賞表彰式と共同開催している。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	小学生以上24歳以下の市民	人	24,730	24,941	23,351	23,351
対象指標2						
活動指標1	審査会開催回数	回	2	2	2	2
活動指標2						
成果指標1	青少年文化賞表彰者数	人	13	11	29	11
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	232	191	478	188
正職員人件費 (B)		千円	1,245	1,209	1,204	1,214
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>1,477</b>	<b>1,400</b>	<b>1,682</b>	<b>1,402</b>

費用内訳	
23年度	報償費 478千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	市内の各学校等に置いて文化芸術教育への取組が盛んになり受賞対象者が増加傾向にある。
--------	--	-------------	---

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

芸術文化に対する認識を深め創造性豊かな青少年を育成するため妥当な事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

青少年が自ら学び認められたことに対し、市長が表彰し市民に知らしめる事で芸術文化に対する意欲を醸成し地域教育の充実に貢献できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

表彰基準に基づき実施している。  
おおむね受賞実績の内容やレベルが向上している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

事業の性質を考慮して、事業の質を追求する必要がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

表彰盾を廃止し、表彰状のみにもすることも考えられるが、表彰の意義が薄れ、また、スポーツ表彰との整合性も必要なため困難である。